



◆Topic◆ 奨学金 大金を借りてまで学ぶ意味は？

以下の文は、ネット上のあるページの記述です。高校生の際に奨学金を借りた「マメ子」さんが、現在大人（34歳）になり、奨学金をせっせと返しています。そのマメ子さんが、17歳の自分に向かって言いたいことが7つにまとめてあります。7つすべてを書けませんので7番目を紹介します。給付型ではなく貸与型奨学金は返済が必要です。奨学金を計画中の人は、奨学金の意味を今一度考えてみましょう。（これは2年生の保護者進路説明会で講師の方から聞いたお話を引用しています）

「奨学金435万借りた17歳（の私）に34歳の私が言ってやりたい7つのこと」

私は月に8万円（有利子）を4年間借り、返済金額は約435万円。月賦支払いで毎月約2万円を20年かけて返済しています。今年で34歳、この返済が折り返し地点をちょっと過ぎたところ。やっと半分、いや、まだ半分が。

奨学金を借りると決めたのがわずか17歳の時。あれから倍の人生を生きてきた私が、今回奨学金について物申したいのです。あの頃の私に「ちょっと待って」と一言も二言も言いたいことがあるのです。

17歳の私に一番足りなかったものは何か。それは「奨学金は自分の借金であり、自分で返済するものだという自覚」

⑦奨学金を借りてまで学びたいことは何なのか、自分の答えを出す

奨学金を借りてまで学ぶ価値があるのか、あなたが大学でやりたいことは何なのか、よく自分に問いかけてみる。奨学金を借りる前にその答えを出し、あなた自身が納得して決心すること。そしてせっかく進学するのなら、後悔のない充実した学生時代を送ること。

17歳の私にこれだけのことを言っても、今私が伝えたいこと、その思いの全てを伝えることはできないと思います。それほど「奨学金は自分の借金であり、自分で返済するものだという自覚」を持たせることは難しいことだと思います。

ただ、借りた人の人生に長く影響することなので、ぜひ慎重に考え、納得してから決断してほしいと思うのです。

マメ子は思う。「奨学金を借りなかったとしても17歳の時に考えなくてはいけないことがたくさんあったな」そして、父親の口癖を今やっと理解できたような気がします。「子供には財産を残してあげられないが、教育という財産を残したい」両親が働いた大事なお金で大学に行かせてもらっていたのだということを改めて感謝しなければいけませんね。

奨学金を借りなくても、進学にはいかにお金がかかるか理解できるでしょうか？進学をあきらめろというではありません。お金を大事に使わせていただくためには今どうすると良いか、進学と金額の意味を少し考えてみましょう。（文責：岡崎）

『3年の窓』 センター試験まで、あと75日（11月1日現在）になりました。あと2ヶ月半です。

この頃は、空き時間を上手に活用できている人が目につき、片手に問題集など持ち、「隙間学習」ができている人を見かけます。あと3ヵ月を切ったので、効率よく勉強の質を高める必要があります。学力に重要な要素は「時間」×「方法」×「気持ちでまけない」です。しっかり「戦略～ストラテジ～」を立てることも大切です。これを機に再度、今の自分の学習方法を見直しけるといいですね。

①配点チェックと自分に必要な得点を確認しよう！どの教科に力を入れるべきかをしっかり見極めてください。ボーダーや必要最低限の点数をしっかりと把握しておきましょう。

②そのためにどんな教材を使うかはっきりさせよう！どの教材をやれば、自分に必要な力が定着するか、わかっていますか？ただ大量にやろうとしてもダメですよ。可能な時間の範囲でまず2・3回行い、できる教材（6割程度の内容が分かる）を準備しましょう。それでも、どうしても理解できない場合は解答を見て、その後、解答を理解し3回以上繰り返し解くのも1つの方法ですよ。（文責：松村）

『2年の窓』 +30分の受験勉強を始めよう

進路指導室の南にあるキンモクセイが満開となり、とてもさわやかな香りに、とうとう秋だなあと感じます。年々時間が過ぎるのは早いものだと思いますが、高校生の君たちもそのように感じているのではないのでしょうか。

さて、早くも11月となり、2年生として7か月が経ちました。高校生活もう折り返し地点（半分）を過ぎたところですね。皆さんは部活動や生徒会、委員会など学校の中心となって活動することが増えてきていると思います。最近、アクティブラーニングを通して自ら考え、自ら情報を発信することを奨励していますが、ぜひ学習活動だけでなく、その他行事やクラス活動、部活動で積極的に行動し、考え工夫してもらいたいものです。日常生活ではできない経験をどんどん積み上げてください。高校生のうちに可能なキャリアアップです。

また、その中で学習時間を増やすことや、継続することはなかなか難しいことかもしれません。しかし、先日の進路説明会でこのような話がありましたね。

「+30分の受験勉強を始めよう。」

2年生の秋に受験勉強を始めた生徒のうち、80%が自身の納得できる進路選択ができたというものでした。+30分…簡単のようで難しい…。君たち2年生皆が自分の納得できる進路実現をしてもらいたいのです。そのために「毎日コツコツ学習すること」を頑張ってください。

(文責：渡邊)

『1年の窓』 進研模試：証言『私はこれで点数が取れるようになりました』

実際に模試を活用して志望校合格した先輩の体験談を紹介します。

国語→①コピーした問題をノートに貼る。古典の場合は現代語訳を書き写す。②間違った問題には赤で解答を書く。③さらに間違えた問題の解説や要点を書き加える。繰り返し解くことで得点力アップ。

数学→①間違えた問題を解きなおす。②それでもわからない問題は模範解答を書き出す。③さらにわかりやすく書き加えたり説明を追加する。出てきた公式を覚えなおす。

英語→①単語は徹底的に調べて暗記することが語彙力アップの秘訣。②単語の意味以外に発音、アクセント、反意語を合わせて調べることで暗記の効率を上げる。本文の内容と一緒に記憶に残れば暗記の効率も上がる。

『模試を活用！』

模試で点数を取れるようになるためには、復習が欠かせない。「模範解答」を使って模試に対応できる学力を身につけよう！その積み重ねが、定期考査対策や受験対策につながっていきます！！

(文責：西崎)